







プログラム名	さかなに変身						
対象年齢	年長 (5~6歳)						
ねらい	メッセージ	・流れのある川の中での魚の暮らし方に気づこう					
	発見・体感できること	・川の流れの中で泳いでいる魚の気持ち ・川の流れの速さ ・川や川原のにおい、風など					
参加者のめやす	幼児	5人~40人	/	支援者	3人~		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活 動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備				<p>川原の草刈り後など、川面の見通しがよい時期に実施します。</p> <p>「なぜ川に入ってはいけないか」を説明した上で、どこまで川に近づいてもいいか、しっかりと安全確認します。</p> <p>川原に落ちている危険物などは、下見の段階である程度取り除いておきます。その上で川原で遊ぶ際の危険性(石につまづいたり、ゴミでケガをする等の可能性)についても説明しておきます。</p> <p>ペットボトルや発泡スチロールで、川に流す(子どもたちと競争する)魚を作っておきます。</p>			
5分	川で泳いでいる魚を想像する			より川の流れの方に注意を集中させるため、状況に応じて、魚より遅くゴールしたら勝ちにするといったルールを設けてみてもよいでしょう。			
10分	魚と競争する(川上 川下) 支援者: 魚に見立てたもの(ロープ付き)を川に流す 子ども: 魚がスタートすると同時に、魚になりきって河原で併走する						
15分	魚と競争する(川下 川上) 支援者: 今度は川の流れに逆らって魚を引っ張る 子ども: 魚になりきって河原で併走する アユなどが川上りをするスピード感を味わう						

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	と で走ったときのちがい(魚が川の流れて泳ぐときと逆らって泳ぐときのちがい)について、感じたことを話し合う	 <p>普段から川の様子を観察しておく、荒れているときや穏やかなとき、雨のときや季節ごとの川の水量や流れの速さ、水の色などの状態について話し合うこともできます。</p>
<p>[川の流れるを感じる遊びのアレンジ]</p> <p> 「笹舟流し」の遊び方</p> <p>葉っぱで笹舟を作り、橋の上などから流して遊んでみましょう。葉っぱそのものを流すだけでもよいでしょう。</p> <p>一斉に流したり、時差を付けたりして流し、川のインコーナーとアウトコーナーなど、場所によって流速がちがうことを感じられるよう、工夫して遊んでみましょう。</p>		
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少・年中： 川原で寝ころんでみるだけでも、川原を吹き渡る風や草のにおいなど、川周辺の自然を感じることができます。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>川に棲んでいる魚の種類や暮らし方について調べ、魚の棲みやすい環境について、みんなで話し合ってみましょう。</p> <p>プログラムでは川には入らずに水中や魚の様子を想像して楽しみますが、入ることができる川に行ってみて実際に入ってみましょう。体に当たる水の強さや間近で見る川の中の様子など、想像していたこととの違いを発見できるでしょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルや発泡スチロールで作った魚 ・ 魚をつなぐロープ ・ ゴールテープ 	

